

## 鳥類繁殖分布調査に協力しよう・2017年～2020年の記録

かつてはその子育てがよく見られていて、最近どうしたの？  
 と思う代表種が**バン**。1970年代から20年ごとの調査の変遷図  
 は、本誌1月号に掲載されています。70年代には都の東部の  
 低湿地帯、多摩川流域、それに杉並区の公園などで繁殖してい  
 たのが、2010年代には、杉並区内と多摩川の中流域だけのよ  
 うです。生後2週間くらいたつと親鳥について餌をねだるヒナ  
 の姿が見られるので、その地で繁殖したことがわかります。昨  
 年の7月号の表紙にすてきな親子の写真が載っています。同じ  
 ように激減を示しているのが**ゴイサギ** [写真1]・**カイツブリ**・  
**イソシギ**・**コチドリ** [写真2]。コチドリは一部に復活の兆しが見えます(2018年9月号10ページ参照)が、  
 多摩川・荒川水系とも減少が明らかです。



写真1 営巣地が減っているゴイサギ [H.Kawachi]



写真2 復活の兆しのあるコチドリ [H.Kawachi]

今春は「東京都鳥類繁殖分布調査」・「全国鳥類繁殖分布調査」  
 の最終年です。上記の鳥に限らず、近所やフィールドでの子  
 育てのようすをお知らせください。平地部(23区・多摩区)は  
 5月初旬～6月下旬、奥多摩地区は5月下旬～7月下旬、伊  
 豆諸島は5月中旬～6月下旬の記録をお寄せください。2018  
 年9月号の本誌8ページおよび裏表紙には、「東京都鳥類繁殖  
 分布調査 2017年の成果」が報告されています。

## フィールドノートから“宝”を掘りだそう・・・アンケート調査

今回の「鳥類繁殖分布調査」の記録は、2017～2020年の繁殖期までが対象です。今年が最終年ですが、  
 新型コロナウイルスの問題で「外出自粛措置」もしくはそれ以上の規制がいつまで続くかわからない状  
 況です。その場合は無理をしないでください。代わりに、いままでため込んでいた「フィールドノート」  
 を整理して、これまでの記録をもとに**アンケート調査**にご協力ください。2016年～2020年までの記録  
 が対象で、本年8月が締切りです。現地調査もアンケート調査も、対象種は外来種も含めて、日本に生  
 息する全鳥類です。

## インターネット環境のない方・・・研究部あてに記録をお送りください

上記のことは、インターネットで【バードリサーチ・繁殖調査】で検索できます。ネット環境を使っ  
 ていない方は「この観察は重要だ」という記録を研究部あてにお知らせください。

手紙・Faxの場合は「種類・月日・場所・状況」と**報告者のお名前・連絡用電話番号**を記して下記に  
 お願いします。希少種の情報をメールで送る場合は、タイトルに「繁殖記録」とだけ記してお送りくだ  
 さい。係から折り返しメールで詳しい状況をお聞きします。

【連絡先】 〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階 Fax: 03-5273-5142

E-mail: office@yacho-tokyo.org 日本野鳥の会東京・研究部・繁殖係